

| | | |
|--|-------------------------------|---------------------------------|
| 平成22年度 シラバス | 学年・期間・区分 | 1年次 ・ 前期 ・ A群 |
| | 対象学科・専攻 | 情報工学科 |
| 数 学 基 礎 (Fundamental Mathematics) | 担当教員 | 早坂 太 (Hayasaka, Futoshi) |
| | 教員室 | 土木工学科棟3F |
| | E-Mail | |
| | | |
| 教育形態 / 単位の種別 / 単位数 | 講義 / 履修単位 / 1単位 | |
| 週あたりの学習時間と回数 | 授業 (100分) × 15回 | |
| 〔本科目の目標〕 | | |
| (1) 指数関数の定義と性質を理解し, 具体的な問題に応用する力を養うこと. | | |
| (2) 三角比の定義と性質を理解し, 計算に習熟すること. | | |
| 〔本科目の位置付け〕 | | |
| (1) 中学校までに習った式の計算, 図形についての知識を前提とする. | | |
| (2) 本科目は, 高専数学ひいては専門科目の最重要基礎科目として位置付けられる. | | |
| 〔学習上の留意点〕 | | |
| (1) 集中すべきときに集中して要点をつかみ, 理解すべきことを確実に理解すること. | | |
| (2) 講義内容をよりよく理解するために, 毎回, 教科書等を参考に1時間程度の予習をしておくこと. | | |
| (3) 課題等の演習問題で, 1時間以上の反復練習をし, 抽象的な思考に慣れること. | | |
| (4) 疑問点は, その都度, 質問すること. | | |
| 〔授業の内容〕 | | |
| 授 業 項 目 | 時限数 | 授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標 |
| 1. 指数関数 | 2 / 2 | 累乗根 累乗根の性質 を理解できる. |
| | 2 / 4 | 指数法則 指数の拡張 を理解できる. |
| | 6 / 10 | 指数計算 ができる. |
| | 2 / 12 | 指数関数の定義 が理解でき, そのグラフ をかくことができる. |
| | 2 / 14 | 指数方程式 指数不等式 が解ける. |
| - 前期中間試験 - | 2 / 16 | 授業項目 1. について達成度を確認する. |
| 2. 三角比 | 1 / 17 | 鋭角の三角比 余角との関係 を理解できる. |
| | 3 / 20 | 三角比の値 を求めることができる. |
| | 2 / 22 | 三角比の相互関係 を理解できる. |
| 3. 三角関数 | 1 / 23 | 一般角, 象限 を理解できる. |
| | 1 / 24 | 弧度法の定義 と, 60分法との関係 を理解できる. |
| | 1 / 25 | 三角関数の定義 を理解できる. |
| | 1 / 26 | 三角関数の値 を求めることができる. |
| | 2 / 28 | 三角関数の相互関係 を理解できる. |
| | 2 / 30 | 三角関数のグラフ をかくことができる. |
| - 前期期末試験 - | | 授業項目 2. 3. について達成度を確認する. |
| 試験問題の返却・解説 | | 各試験において間違った部分を理解できる. |
| 〔教科書〕 | 新編『高専の数学1』, 田代嘉宏 他編, 森北出版株式会社 | |
| 〔参考書・補助教材〕 | 図書館の参考書, 併用の問題集, 配布するプリント類 | |
| 〔成績評価の基準〕 | 定期試験 (75%) + 問題演習 (25%) | |
| 〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 | 3 - a | |
| 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 | | |
| 〔JABEEとの関連〕 | | |